

JR東日本労働組合 SENDAI 情報

JR 東日本労働組合
仙台地方本部
発責：執行委員長
編集：情宣部・組織部

第10回仙台地本大会 活気ある運動を見出そう!

ユニオン仙台地本は9月24日、山形テルサに於いて第10回仙台地本大会を開催し、エルダー組合員が中心となる地本の在り方と、明るい未来を目指す運動について議論を行った

仙台地本第9回大会は8月24日開催予定であったが、コロナウィルスの影響により第10回大会として延期され招集開催された。9月中の開催にこだわり、委任状により大会が成立した。本部より藤本委員長が出席し、「仙台地本が取組むエルダー課題は他の地本も注目している、今後のエルダー組合員の在り方に寄与して欲しい」と挨拶した。

質疑では、エルダー100%を想定し、役員への参加をエルダー協議会と共に議論の必要性について発言された。業務関係では、今後の運輸職場の働き方改革への対応、営業職場の在り方、会社のコロナ対策、職域接種に於ける勤務等について発言され、また、出向エルダー社員に対する手当の不払いの発覚について報告された。今後、申入れ等で解明を求めていく。最後は佐藤委員長の団結頑張ろうで向こう一年の闘いについて確認された。



藤本委員長



【佐藤委員長挨拶】

七月一二日に4度目の非常事態宣言が出され日常生活や業務は制約され、仙台地本に於いても、集会や組合員同士の懇親会、イベントは自粛、中止が続いている。しかし、ユニオン運動は止めるわけにはいかない。感染症予防対策を取りながら、時間は掛かるが停止、後退させない取り組みを行ってきた。「2021春闘100%アンケート」では93.6%の回答が得られた。あらためて組合員に感謝すると共に、アンケートで得られた課題について申入れ、申第一号、二号よりしっかりと組合員に返すこととした。今定期大会は、現状と未来を見つめ、何をやらなければいけないのかを皆で考え議論し、全組合員で確認し、実行できるものを創り出していこう。



<メインスローガン> JR労働者が働きたいを得る JR東日本と
安心を得る社会をつくろう!